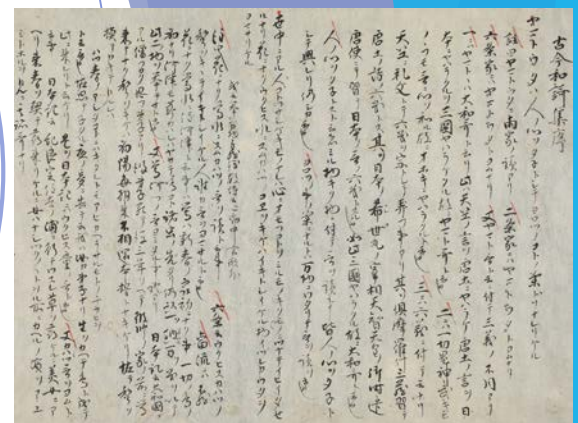
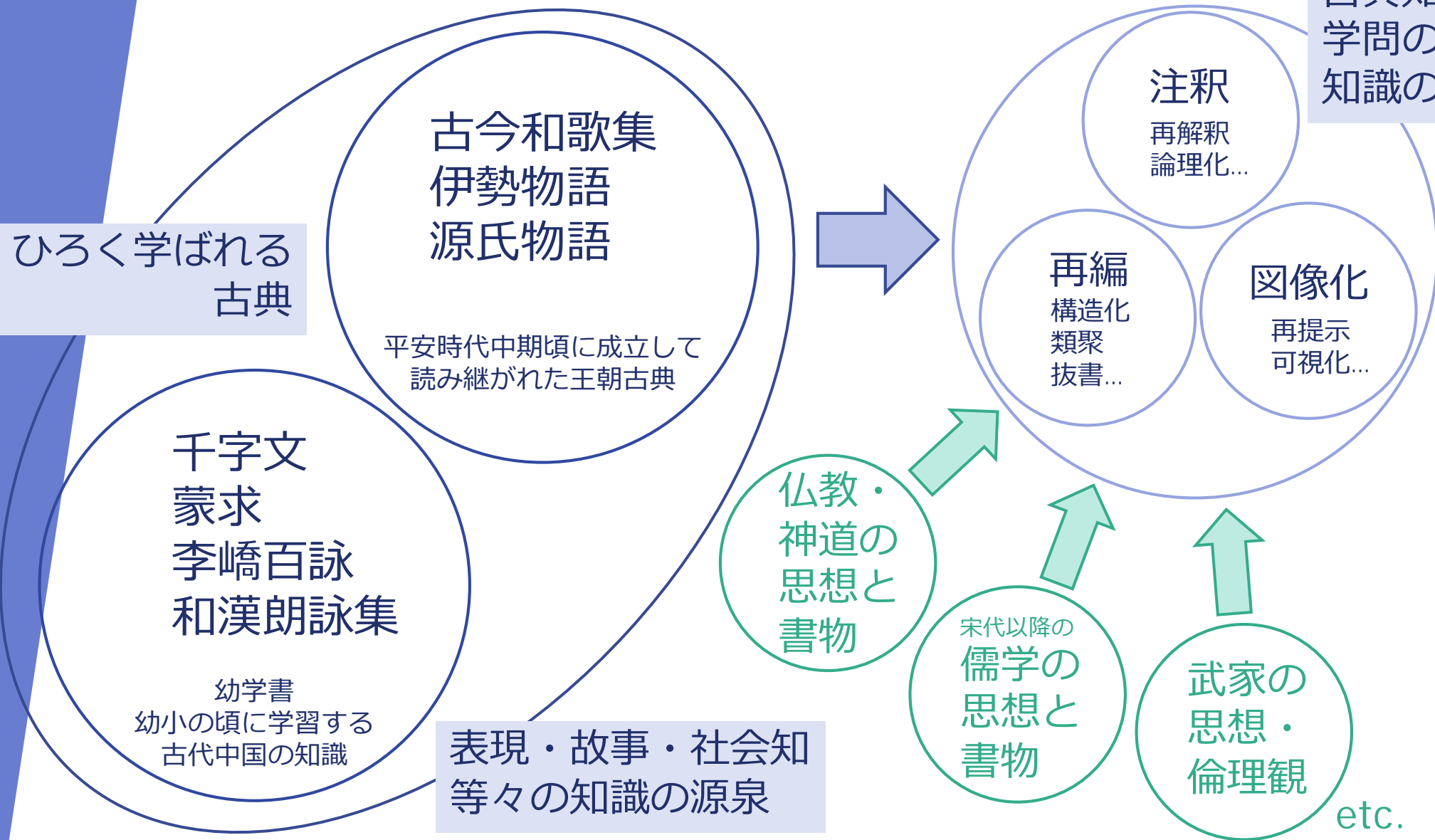


研究テーマⅡ
 ウン ノ ケイ スケ
 研究部・海野圭介：知識基盤としての古典学

古典知識を紐帯とした
 学問の展開・教養の醸成・
 知識の流通の実態解明



注釈書：昆沙門本古今集注（国文研蔵）



知識の再編：光源氏一部連歌寄合（同蔵）



図像化：業平涅槃図（同蔵）



単著
 (勉誠出版 2019年)



共編著
 (国立歴史民俗博物館 2009年)



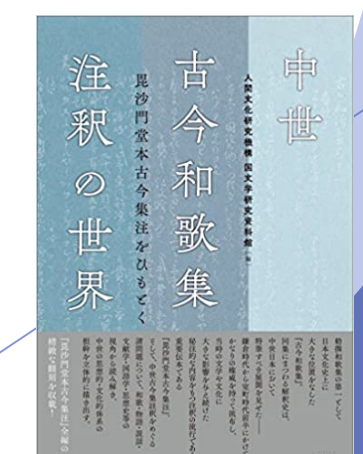
共編著
 (武蔵野書院 2013年)



共編著
 (武蔵野書院 2013年)



共編著
 (国文学研究資料館 2017年)



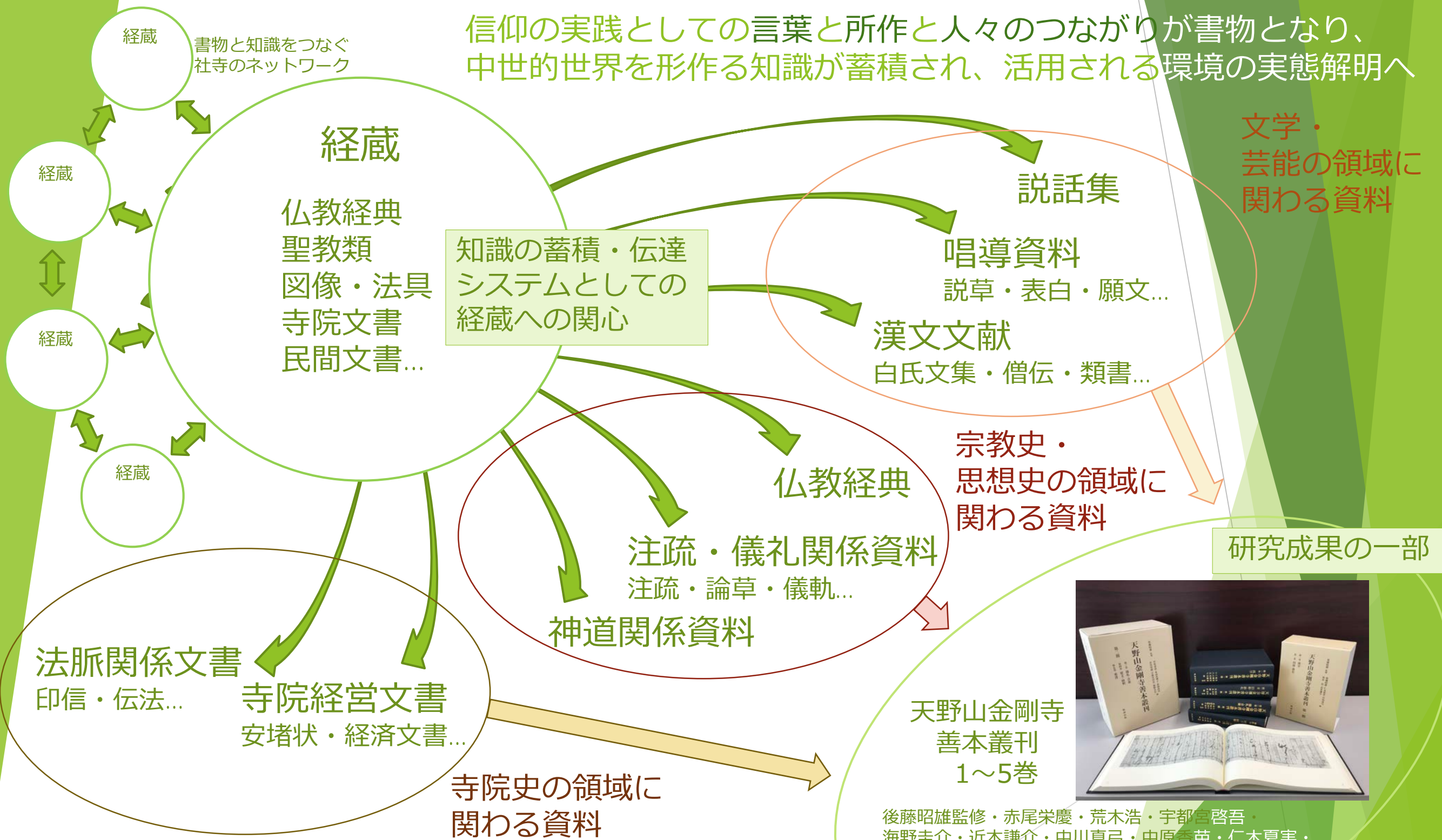
共著
 (勉誠出版 2018年)

図像化：業平涅槃図（同蔵）

研究部・海野圭介：研究テーマI 密教寺所蔵資料の調査と研究

信仰の実践としての言葉と所作と人々のつながりが書物となり、中世的世界を形作る知識が蓄積され、活用される環境の実態解明へ

文学・
芸能の領域に
関わる資料



研究成果の一部



天野山金剛寺
善本叢刊
1~5巻

後藤昭雄監修・赤尾栄慶・荒木浩・宇都宮啓吾・
海野圭介・近本謙介・中川真弓・中原香苗・仁木夏実・
箕浦尚美・米田真理子編『天野山金剛寺善本叢刊 1~5』
(勉誠出版、2017~2018年)
日本学術振興会研究成果公開促進費による刊行

科学研究費補助金による調査と研究
 基盤研究 (B) 「金剛寺摩尼院聖教の調査を基盤とした日本中世の宗教的知の流通
 と蔵書形成に関する研究」研究代表者：海野圭介、2019-2022年度
 基盤研究 (A) 「中世拠点寺院の蔵書と美術に基づく人と知のネットワーク解明」
 研究代表者：近本謙介、2020-2024年度 (研究分担者：海野圭介)